

日本歯科評論 別冊 2015

最新 歯内療法の器具・器材と臨床活用テクニック

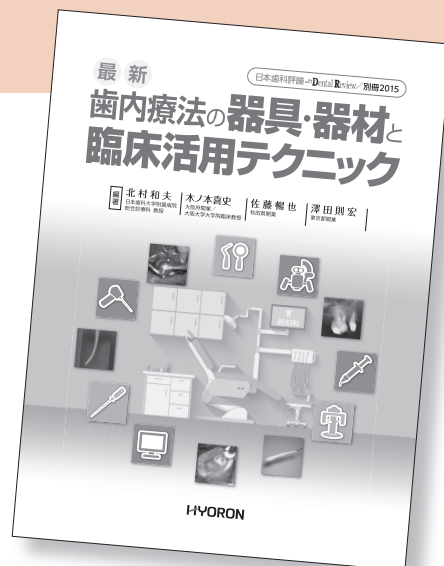
北村和夫・木ノ本喜史・佐藤暢也・澤田則宏 編著

A4 変判・168 頁・定価（本体 5,800 円＋税）

2015 年 5 月 15 日 ヒョーロン・パブリッシャーズ刊

谷本 幸司

（東京都中央区・デンタルオフィス谷本）



最近のエンド治療における器具・器材の進歩は目を見張るものがあり、私のように 30 年近くも前に大学でエンドを学んだ者にとっては、どのように知識をアップデートしていけばよいのか、器具・器材の選択をどうすればよいのか、考え方や使用法をどう学んでいけばよいのか、悩むところである。それは、これから臨床を始める若い先生方にとっても同じことであろう。

そのような目的でセミナーを受講することも知識やテクニックを学ぶための一法ではあるが、すべての機器に関して話を聴くことはできないので、受講前に得たい知識を絞っておく必要がある。その点、本書は、歯内療法の基礎から現在に至る考え方の流れの理解、各手技の確認、そして最新の器具・器材とそのコンセプトや使用法をメーカーの隔てなく紹介しているので、大変ありがたい。

本書を手にとると、まずはその豪華な編者・執筆陣に目をひかれる。学会において、また歯科雑誌や講演会・セミナーなどで活躍している先生方が一堂に会しているのだから、これが面白くないわけがない、と期待がふくらむ。

本書の構成は以下の 4 章からなっ

ている。それぞれの章の簡単な内容を紹介します。印象を記す。

■第Ⅰ章 最近の歯内療法におけるトレンド

マイクロスコープ、NiTi ファイル、MTA セメント、CBCT など最新のエンドの器具・器材のトピックスが紹介された。特に最近のトレンドとして画期的進歩である CBCT とマイクロスコープに関しては、その意義や使用法の解説に加えて代表的な機種を紹介がなされている。

■第Ⅱ章 NiTi ロータリーファイルの現在

マルチプル 7 種、シングル 3 種の計 10 種もの NiTi ロータリーファイルを、その性質からコンセプト・使用法に至るまで詳細に解説している。安全な治療のために知識を再確認するのも重要であろうし、自分にとってあまり馴染みのない製品の特徴なども理解することができ、面白かった。私がまだ導入していないシングルのファイルの紹介は特に興味深く読ませていただいた。これから NiTi ロータリーファイルの機種選定をするのにも大変参考になる。

■第Ⅲ章 エンドの流れ—エンドドントティストの“私の臨床”

ステンレススチールファイルから

根管洗浄、仮封に至るまで、それぞれの器具や手技に対する今までの流れ・術式などの情報をポイントを突いて確認し、知識をアップデートしていくのに大変ありがたい章である。毎日「何気なく行っている」治療手技の確認ができ、参考になった。

■第Ⅳ章 私の道具箱

エンドのエキスパートである 4 名の編者が「自分の臨床に欠かすことのできない器具・器材」を 16 製品ずつ挙げ、それぞれについて解説している。重複している器具があるのも興味深く拝見した。器具の選択にもそれぞれの先生方の考え方が反映されていて、とても面白い企画で勉強になった。メーカーにすぐ問い合わせをしたい製品が多数あった。

私自身、臨床にマイクロスコープを導入して 4 年になるが、エンド治療を行う際に、それまで肉眼での治療に使用していた器具が役に立たなかったり、不便に感じたりすることがあり、学会の展示ブースをウロウロしたり、経験豊富な先生からアドバイスを得たりしたものだが、この別冊がその時にあればどんなに重宝したことかと思う。エンドに興味がある先生方なら、是非とも目を通していただきたい一冊である。